

授業科目 生活援助技術Ⅰ

【 担当教員名 】		対象学年	1	対象学科	社会（介護福祉コース必修選択）
渡 邊 敏 文、星 紀恵子		開講時期	前期	必修・選択	選択
		単位数	2	時間数	60
【 概要・一般目標：GIO 】					
・ 自立に向けた移動の介護の目的を理解し、その技法を身に付ける。					
・ 自立に向けた食事の介護の目的を理解し、その技法を身に付ける。					
【 学習目標・行動目標：SB0 】					
1）安全で的確に移動・移乗できる介助の技法について実践できる。					
2）安全で的確に食事できる介助の技法について実践できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	移動の意義と目的			1	講義、演習
2	移動に関する利用者のアセスメント			1	演習
3	安全で気兼ねなく動けることを支える介護の工夫			1	演習
4	外出の環境づくり、社会参加における工夫			1	演習
5	余暇活動、レクリエーションにおける工夫			1	演習
6	人体部位の名称			1, 2	演習
7	ボディメカニクス			1	演習
8	移動に関連したところとからだの基礎知識			1	演習
9	移動に関連したところとからだのしくみ			1	演習
10	食事に関連したところとからだのしくみ			2	演習
11	歩行介助の技法Ⅰ			1	演習
12	車いす介助Ⅰ			1	演習
13	安楽な体位の保持Ⅰ			1, 2	演習
14	体位変換Ⅰ			1	演習
15	体位変換Ⅱ			1, 2	演習
16	感覚機能が低下している人の移動介助の留意点			1	演習
17	運動機能が低下している人の移動介助の留意点			1	演習
18	認知・知覚機能が低下している人の移動介助の留意点			1	演習
19	食事の意義と目的			2	演習
20	食事に関連する利用者のアセスメント			2	演習
21	おいしく食べることを支える介護の工夫			2	演習
22	食卓の環境づくり、食器の工夫			2	演習
23	献立に興味を持ってもらうための工夫			2	演習
24	安全で的確な食事介助の技法			2	演習
25	感覚機能が低下している人の食事介助の留意点			1, 2	演習
26	運動機能が低下している人の食事介助の留意点			1, 2	演習
27	認知・知覚機能が低下している人の食事介助の留意点			1, 2	演習
28	誤嚥・窒息防止のための日常生活の留意点			1, 2	演習
29	脱水予防のための日常生活の留意点			1, 2	演習
30	まとめ			1, 2	演習、講義
【 使用図書 】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料		実習の手引き			
【 評価方法 】		【 履修上の留意点 】			
出席状況・演習内容等で総合評価する。					